

平素より大変お世話になっております。
粒子線医療センターだより第22号をお届けいたします。
第22号では『高齢者を支える粒子線治療』と題し、当院の粒子線治療と療養環境についてご紹介いたします。



院長 沖本 智昭

我が国で高齢者が増加していることはご存じの通りです。しかも悪性腫瘍は加齢と共に増加する傾向があることから、高齢者の悪性腫瘍に対する治療提供は喫緊の課題となっています。

一般的に高齢者の悪性腫瘍に対する治療は、①体力や心臓、肺、腎臓などの機能低下、②認知機能の低下、③老々介護やサポートしてくれる家族が居ないといった要因により、標準治療の完遂が困難なケースも少なくありません。

こうした背景を踏まえ、当院では、高齢の方でも安心して受けることができる粒子線治療に取り組んでいます。

当院で高齢の方が粒子線治療を受けるメリットは、以下の通りです。

- 少ない照射回数で治療が完了する
- 通常のX線治療より放射線による有害事象を低減できる
- 身体への負担が少なく、通院での治療が可能である

さらに、当院は粒子線治療に特化した病院では珍しく、粒子線治療専用の病室を50床完備しています。通院が困難な高齢者や体力的に不安がある方でも、入院しながら安心して治療を受けていただくことが可能です。

また、高齢患者さんに優しい療養環境を整え、スムーズな在宅復帰への支援体制も構築しております。

高齢者の悪性腫瘍に対する治療法を検討される際は、ぜひ当院での粒子線治療を選択肢の一つとしてご検討いただけますと幸いです。

高齢患者を支える粒子線治療 ～ 粒子線医療センターの療養環境について ～

1. 入退院支援について

粒子線医療センターは病床 50 床を有するがん治療専門病院です。医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士など、多職種が連携しチーム医療を実践しています。当院には PFM(Patient Flow Management)部門は設置していませんが、患者さんが治療を円滑に受けられるよう、外来担当医師と外来看護師が協働して「入退院支援スクリーニング」を実施します。

主な取組みとして

- ① 環境の調整: 認知機能や身体状況に合わせ、ナースステーションに近い病室の確保やベッド配置の工夫を行います。
- ② 生活の継続: かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャーへ情報提供の依頼を行います。入院前の状況を把握し、得られた情報をもとに、入院中もできる限り入院前と変わらない支援が継続できるよう努めています。

2. かかりつけ医との連携について

高齢患者さんの多くは、さまざまな併存症を抱えています。また、治療後の晩期有害事象については長期的なフォローが必要となります。当院では紹介元病院の主治医だけでなく、必要に応じてかかりつけ医とも連携することを重視しています。

治療終了時には、併存症の経過や粒子線治療後の注意点などの診療情報の共有を行い、地域の医療機関との協力体制を整えています。

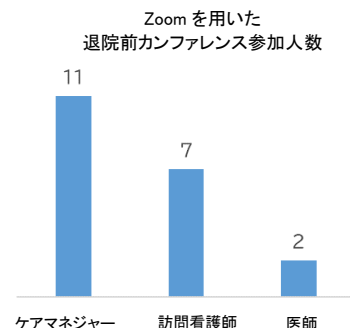


©厚生労働省「上手な医療のかかり方プロジェクト」WEBコンテンツより改編

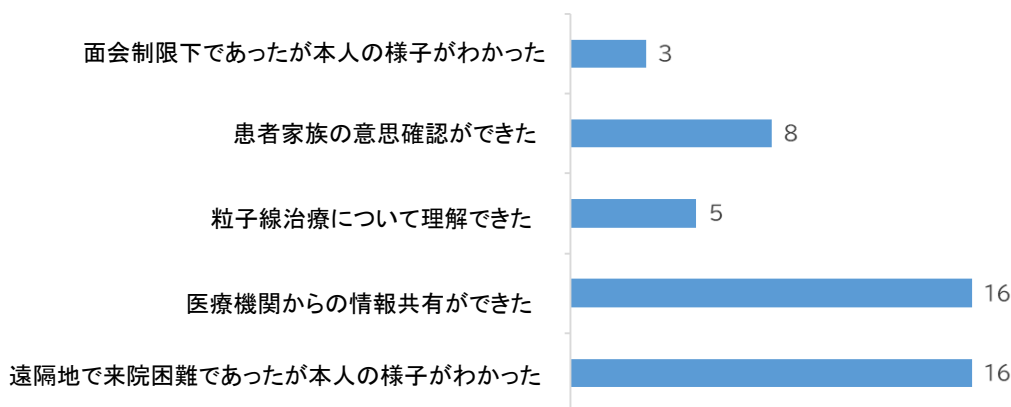
3. 訪問看護師・ケアマネジャーとの連携について

治療後も患者さんが望む生活が送れるよう、地域の訪問看護師やケアマネジャーとの連携を推進しています。病棟看護師と地域連携看護師が協働し、患者さんの希望を尊重しながら医療・生活両面の課題を整理し、地域の多職種と連携して退院前カンファレンスを実施しています。

当院では患者さんの居住地が広域に及ぶことから、Zoom を活用した「オンライン退院前カンファレンス」を積極的に実施しています。患者さんからは、「退院前にきちんと引き継いでもらえ安心した。」訪問看護師やケアマネジャーからは「遠方でも患者さんの状態が把握できた。」といった声を頂いています。



オンラインカンファレンスでよかった点
複数回答可



【 2022 年 10 月から 2025 年 3 月までに実施した退院前カンファレンスアンケート結果より抜粋 】

4. フレイル予防について

当院には理学療法士はいませんが、病棟看護師が主体となりロコモーショントレーニング(ロコトレ)に取り組んでいます。入院に伴う活動量の低下を防ぎ、退院後もスムーズに元の生活に戻れるよう、ADL の維持を全力でサポートしています。



5. 音楽療法について

毎週水曜日には、専門の音楽療法士による音楽療法を開催しています。懐かしいメロディに合わせて歌ったり手拍子をしたりすることで、心身のリラックスにつながり治療への前向きな気持ちを引き出しています。

陽子線治療・重粒子線治療の診療区分について

	適応症例	適用	重粒子線治療	陽子線治療	当院で治療が可能なもの
保険診療	限局性骨軟部腫瘍 *		○	○	○
	頭頸部悪性腫瘍	口腔・咽喉頭の扁平上皮がんを除く	○	○	○
	限局性及び局所進行性前立腺がん	転移を有するものを除く	○	○	○ 陽子線のみ
	肝細胞がん *	長径 4 cm 以上のものに限る	○	○	○
	肝内胆管がん *		○	○	○
	局所進行膀胱がん *		○	○	○
	手術後に局所再発した大腸がん *		○	○	○
	局所進行性子宮頸部腺がん *		○		×
	早期肺がん（Ⅰ期からⅡA期） *		○	○	○
	大型の局所進行性子宮頸部扁平上皮がん *	長径 6 cm 以上のものに限る	○		×
	婦人科領域悪性黒色腫 *		○		×
	小児腫瘍	限局性の固形悪性腫瘍に限る		○	神戸陽子線センターで実施
	先進医療	脳脊髄腫瘍 ■			○
頭頸部悪性腫瘍 ■		口腔・咽喉頭の扁平上皮がん		○	○
肺・縦隔腫瘍 ■		保険診療以外	○	○	○
消化器腫瘍 ■		保険診療以外	○	○	○
泌尿器腫瘍 ■			○	○	○
転移性腫瘍 ■			○	○	○
自由診療	上記の保険診療、先進医療で施行できない疾患だが、当院、兵庫県立がんセンター、兵庫県立リハビリテーション西播磨病院、神戸大学医学部附属病院、IHI播磨病院等の医師及び医療スタッフによるカンサーボードで認められた疾患		○	○	○

* は手術による根治的な治療が困難なもの

■ 適応症の詳細は日本放射線腫瘍学会のホームページをご覧ください

ご紹介の手順について

●初診の申し込み方法

当院のホームページ内の 治療できるがん から疾患ごとの様式をダウンロードし FAX にて送信してください。また、当院ではオンライン診療を行っています。ご紹介いただく場合にはご検討いただければ幸いです。

●セカンドオピニオンの申し込み方法

医療機関・患者さんのどちらからも予約ができます。ホームページから様式をダウンロードし、FAX にて送信していただくほか、お電話でも予約が可能です。セカンドオピニオンにつきましても、オンライン診療が可能です。



●メール相談の申し込み方法

主治医の先生から粒子線治療の適応についてのご相談を随時受け付けております。詳しくは当院のホームページをご参照ください。

粒子線 兵庫

🔍 検索